

## 審査基準

評価項目	配点	審査の視点
<b>【1】 企画提案</b>		
(1) LINE 活用に関する基本的な考え方、企画概要・構成等	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本業務の内容および津野町への理解度が高く、本業務の目的に沿った提案がされているか。</li> <li>・業務実施の方向性、業務の流れ、スケジュールは適切か。</li> <li>・セキュリティの確保の措置は十分な内容か。</li> <li>・職員が専門知識を持っていない場合でも容易に操作できるか。</li> </ul>
(2) 活用方法 【A：リッチメニュー】 【B：アンケート機能】 【C：メッセージ配信機能】 【D：チャットボット機能】 【E：分析機能】 ※必須機能	25	利用者、管理者にとって使いやすいものとなっているか。視認性およびデザインに優れているか。
(3) 活用方法 【F：関係人口コミュニケーションツール】 ※必須機能	10	町外在住者や関係人口が継続的に町と関わる仕組み作りができるものとなっており、利用者、管理者にとって使いやすいものとなっているか。
(4) 活用方法 【G：メール連携機能】 【H：予約機能】 【I：申請機能】 ※将来導入する可能性がある機能	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存のメール配信システムとスムーズな連携ができ、利用者、管理者にとって使いやすいものとなっているか。</li> <li>・利用者、管理者にとって使いやすいものとなっているか。</li> <li>・LINE を入口としたスムーズな申請手続きができるものとなっているか。</li> </ul>
(5) その他の機能を活用した独自提案	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本業務において必須としている機能やオプション機能を活用した独自の提案となっているか。</li> <li>・将来的な運用に効果が期待できる内容か。</li> </ul>
<b>【2】 類似業務の実績</b>		
類似業務の実績	5	過去に同様の実績があるなど、本業務に係る基本的な能力を有しているか (令和3年度以降の類似業務の実績)
<b>【3】 業務の実施体制</b>		
業務の実施体制	5	業務を遂行するために十分な実施体制となっているか。
<b>【4】 経費見積</b>		
経費見積書	25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約上限額の範囲内であり、根拠が明確な経費積算となっているか</li> <li>・将来的な保守費用は妥当と判断されるか。</li> <li>・仕様に掲げた業務経費が全て計上されているか</li> <li>・単価、数量等について、妥当と判断されるか</li> </ul>
合計	100	